

日本生物学的精神医学会2013年度第2回理事会議事録案	西川 徹 (理事長)
第22回日本生物学的精神医学会学術賞の公募について	西川 徹 (委員長)
2013年度後期の国際学会発表奨励賞の公募について	西川 徹 (委員長)
日本生物学的精神医学会2013年度「若手国際交流プログラム」公募のご案内	西川 徹 (理事長)

### 日本生物学的精神医学会 2013年度 第2回理事会議事録案

1. 日 時 2013年6月25日 (火)  
7:00~8:00
2. 場 所 グランドプリンスホテル京都B1  
比叡の間  
京都市左京区岩倉幡枝町1092-2
3. 理事出欠 西川 徹 (出), 岩田仲生 (出),  
大森哲郎 (出), 神庭重信 (出),  
岸本年史 (出), 鈴木道雄 (出),  
村井俊哉 (出), 朝田 隆 (出),  
加藤忠史 (出), 久住一郎 (出),  
篠崎和弘 (出), 曾良一郎 (出),  
中込和幸 (欠), 平安良雄 (出),  
吉川武男 (欠), 渡辺義文 (出)  
以上理事16名中14名出席 (定足数9名)
4. 監事出欠 寺尾 岳 (出), 米田 博 (出)  
以上監事2名中2名出席予定
5. 陪席者出欠 武田雅俊 (出)

#### 議 案

- 1 理事長の選任の件  
理事長につき互選を行った結果, 西川理事がこれに選任された。
- 2 各常置委員会正副委員長の選任の件  
西川理事長より各常置委員会の構成について説明があり, 審議の結果, 以下の委員が正副委員長にそれぞれ選任された。

委員会名	委員長	副委員長
総務委員会	大森哲郎	朝田 隆
広報委員会	岩田仲生	渡辺義文
財務委員会	岸本年史	吉川武男
国際交流委員会	神庭重信	平安良雄
学術賞委員会	西川 徹	久住一郎
倫理委員会	鈴木道雄	中込和幸
将来計画委員会	岩田仲生	久住一郎
関連学会対応委員会	加藤忠史	曾良一郎

- 編集委員会 村井俊哉 篠崎和弘
- 3 第37回年会会長の選任の件  
2015年度大会 (第37回年会) の会長候補者につき審議の結果, 複数の推薦があったことから, 引き続き調整を行うこととなった。また, 他学会との合同開催について意見交換を行った。

以上

### 第22回日本生物学的精神医学会 学術賞の公募について

日本生物学的精神医学会  
学術賞選考委員長 西川 徹  
2013年1月から12月までに発表された原著論文 (レビューでもオリジナリティーがあれば可) の筆頭著者を対象に, 下記の要領で標記賞受賞候補者の募集を行いますので奮って応募 (推薦) して下さい。なお, 受賞者には年次大会においてポスター発表を行っていただきます。また, 評議員の先生方には推薦用紙が送付されます。

#### 記

1. 規定 以下のとおり
2. 推薦要領 推薦用紙, 別冊10部を同封し, 以下送付先宛て送付下さい。
3. 送付先 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
学会支援機構内  
日本生物学的精神医学会事務局気付  
学術賞選考委員長 西川 徹
4. 応募締切日 2013年12月24日 (火) 必着

以上

### 日本生物学的精神医学会学術賞規定

1. 本学術賞は本学会の基金にもとづき, 本学会正会員のすぐれた学術研究業績を表彰し, もって若手研究者の育成, 生物学的精神医学会の発展

に寄与することを目的とする。

2. 本賞の受賞者は当該年度（原則として1月～12月、但し、翌年度の発表予定のもので校正刷りをもって応募することは可能とする）に発表されたすぐれた原著論文の筆頭著者で、論文受理の時の年齢が40歳以下、会員歴1年以上の本学会正会員とし、原則として年1名とする。
3. 本賞の受賞者には賞状および副賞が授与される。
4. 本賞の受賞者を選考するために学術賞選考委員会を置く。
5. 委員会は、理事および評議員若干名で構成され、理事が委員長となり委員会を代表する。
6. 委員長は本学会評議員全員から受賞候補者の推薦を募る。
7. 委員長は選考結果を理事長に報告する。理事長はその結果を理事会に諮り受賞者を決定する。

(2009年10月4日 現在)

### 2013年度後期の国際学会発表 奨励賞の公募について

日本生物学的精神医学会  
学術賞選考委員長 西川 徹

2013年後期（10月から翌3月）に開催される国際学会での発表者を対象として下記の要領で標記賞受賞候補者の募集を行いますので奮って応募(推薦)して下さいようお願い申し上げます。

#### 記

1. 規定 以下のとおり
2. 推薦要領 推薦用紙（本学会ウェブサイト [www.jsbp.org](http://www.jsbp.org) よりダウンロードしていただけます）、評価の参考となる資料（抄録・サーキュラー・学会プログラム等）8部を同封し、以下送付先宛ご送付下さい。
3. 送付先 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
学会支援機構内  
日本生物学的精神医学会事務局気付  
学術賞選考委員長 西川 徹
4. 応募締切日 2013年12月24日（火）必着  
以上

### 日本生物学的精神医学会 国際学会発表奨励賞規定

1. 設置 日本生物学的精神医学会は規定により研究奨励賞（国際学会発表制度）を設ける。

2. 名称 名称は、日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞とする。
3. 対象 原則として応募時年齢35歳未満の会員で、国際学会に参加し、将来性のある優れた研究を発表する者に贈られる。対象となる学会および発表される研究内容については選考委員会が評価を行う。
4. 表彰 研究奨励賞は賞状および副賞とし、副賞は15万円とする。
5. 募集 募集は年2回行う。前期は当該年度4月から9月の間に、後期は当該年度10月から3月の間に開催される国際学会に参加する者を対象とする。
6. 選考

- 1) 研究奨励賞を選考するために本学会内に選考委員会を設ける。
- 2) 選考委員は理事・評議員より理事会で選出する。委員長は委員の互選により決定する。委員は6名とし任期は2年とする。再任は妨げない。
- 3) 選考対象者と同一講座（大学以外の機関はこれに準ずる部局）に所属する選考委員は、その年度の選考には加わらないものとする。
- 4) 選考委員会は受賞者を決定し、委員長は当該者なしの場合も含めて理事長に報告する。委員長は年会の際に開催される理事会に選考経緯および結果を、また評議員会に選考結果を報告する。

#### 付則

- (1) 本規約は1999年4月22日より施行する。

### 日本生物学的精神医学会 2013年度「若手国際交流プログラム」 公募のご案内

日本生物学的精神医学会  
理事長 西川 徹

本年度も昨年度に引き続き、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をする若手研究者を公募いたします。会員の皆様におかれましては、本プログラムの趣旨をご理解の上、多数ご応募いただきますようお願い申し上げます。

1. 趣 旨 本学会は、アジア地域における精神医学領域の研究の発展と交流を促進するために、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会との間に「若手交流プログラム」を締結いたし

ました。この取り決めに基づいて、日本と韓国、日本と台湾、日本と香港の各生物学的精神医学会は、それぞれの年次学術集会に若手研究者2名以内をお互いに招聘することになっております。日本生物学的精神医学会には韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会からそれぞれ若手研究者が来日し研究発表をすることを予定しておりますが、これに対応する形で、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をしていただくために若手研究者を派遣するものです。

2. 応募資格 申請日現在に40歳以下の本学会会員であること。
3. 応募方法 次の書類を日本生物学的精神医学会国際交流委員長 (jsbp@asas.or.jp) 宛に Email 添付でご提出下さい。
  - 1) 応募用紙 (書式不問・以下A~H全てを記載)
    - A. 氏名, B. 申請時の年齢, C. 所属, D. 連絡先, E. 派遣希望国, F. 応募の背景と理由400字以内, G. 英文発表予定演題

- 名, H. アブストラクト (300 words 以内)
- 2) 履歴書および業績目録 (書式不問)
4. 応募期限 各国BP学会の年次学術集会の3か月前
5. 募集人員 本年度は、韓国、台湾、香港への各最大2名で合計最大6名の派遣を予定しております。
6. 学会日程 韓国、香港、台湾の各学会年次学術集会の開催日と場所は、各学会に直接ご確認下さい。
7. 賞の内容 選出された若手研究者は、韓国、台湾、あるいは香港の各生物学的精神医学会の学術集会いずれかに招聘され研究成果を発表するとともに、渡航滞在費として各USD 1,000の支給を受ける。
8. 選考方法 会員に対し公募をおこない、国際交流委員会にて候補者を選出し、理事会にて決定。
9. 結果通知 理事会決定後、本人宛に通知いたします。

以上